

## 課題名ガン放射線治療計画用AIソフトウェアに関する費用対効果エビデンス構築研究

代表機関：アイラト株式会社

分担機関：東北大学、東京女子医科大学、慶應義塾大学、久留米大学、金沢大学、新潟大学、藤枝市立総合病院、東北医科薬科大学、長崎大学

全研究開発期間：2025/6/3～2026/3/31

**研究の背景・目的**：AIを活用した放射線治療計画支援サービス「AIVOT」の導入効果を定量的に評価し、医療機関への普及に向けたエビデンスを確立する。

- IMRT治療計画に約6時間を要し、症例数を制限せざるを得ない。
- ミリ単位の輪郭入力作業による医療スタッフの心理的負担が極めて大きい。
- 人的リソース不足とIMRT未実施により、医療・経営両面で損失が生じている。

**事業達成状況および成果**：AIを活用することで業務削減・ストレス軽減・収益改善を定量的に評価し、医療機関への普及に向けたエビデンスを確立できた。

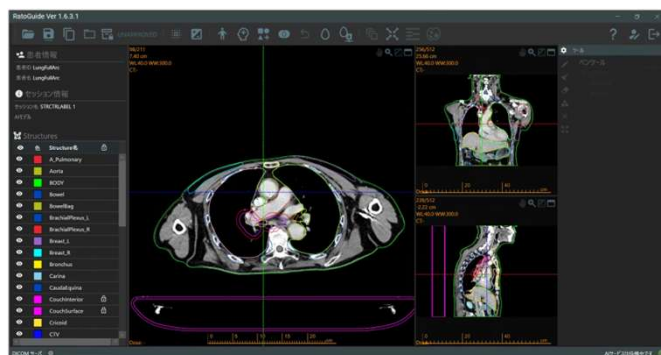
**研究の将来展望**：AI治療計画の社会実装と事業拡大

- 対象施設・対象疾患などを広げてのさらなるエビデンス構築
- 今回の結果を踏まえてのさらなる導入効果向上に向けたプログラム改良

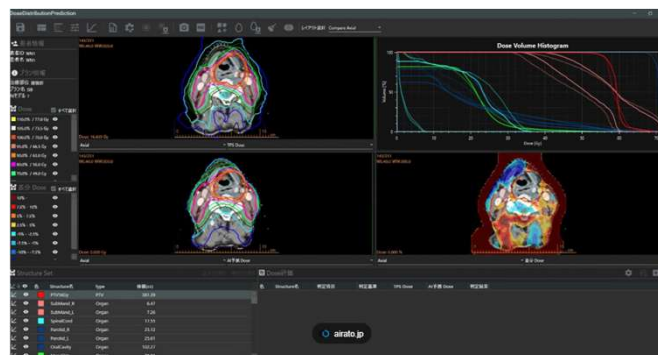
### 概要イメージ

### AIVOTのソフトウェア

#### AI臓器自動輪郭抽出



#### AI照射領域決定



#### AI安全性検証

